

R I 第 2820 地区

# 水海道ロータリークラブ



CELEBRATE  
ROTARY

100 Years

2004-05 年度 国際ロータリー会長  
グレン E. エステス・シニア

NO. 2 0 2 4

例会 2005 年 2 月 9 日(水)

鈴木・大串年度テーマ

『原点に戻ろう！』

そしてさらなる飛躍を！！』

2月の会長ポイントメッセージ

世界を見つめよう！

私達はいかに恵まれているかが分かるだろう！！

2月是世界理解推進月間です

## 本日のプログラム

点 鐘

ロータリーソング・四つのテスト

ビジター紹介

出席報告

SAA 報告

諸 報 告

幹事報告

会長挨拶

米山奨学生卓話

蔡 亦竹さん

次回 2月16日(水) 予告

外部卓話

門馬水海道警察署長



染谷国際奉仕委員長と佐藤 明様

2004～2005 年度

会 長 鈴 木

豊

幹 事 大 串

卓

例 会 場 ・ 例 会 日

事 務 所

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 2790

〒303-0023 茨城県水海道市宝町 3386

常陽銀行水海道支店内 3F

釜久ビル 3F

毎週 水曜日 12:30～13:30

0297-22-1251

0297-30-0875

Fax0297-30-0876

E-mail [mitsu-rc@lapis.plala.or.jp](mailto:mitsu-rc@lapis.plala.or.jp)

URL <http://kinuyou.com/rc/>

**本例会でのおもな事項**

\* 会長挨拶

\* 外部卓話

\* 誕生祝

佐藤 明様

**ビジター紹介**

外部卓話者 佐藤 明様 (株)日本スポーツ企画出版社 報道カメラマン)

**誕生祝** おめでとうございます。

配偶者 関根会員

**諸報告**

**国際奉仕委員会** (穂戸田好範委員)

ツウンバ交換学生滞在中のアルバムが出来ました。回覧いたしますのでご覧下さい。

**CICO委員会** (瀬戸隆海委員長)

1月30日(日)、つくば国際会議場でIT情報伝達研究会が開催され出席して来ました。

当地区は次年度から従来の DICO-CICO ネットワークをより実用的日常的なネットワークとして活用推進することになっています。DICO-CICO という限られたネットワークから、より柔軟なクラブと地区のネットワークへ移行するために永井年度では平均3アドレスへとネットワークを広げて発信、受信体制を維持しているのですが、次年度も同様にその発信元も DICO(代理発信)からガバナー事務所発信としての体制になります。(次年度、地区IT情報伝達委員会は廃止)又、地区の委員会情報につきましても同様な発信経路により迅速に発信されることとなります。又、クラブの側も会長、幹事さんそして CICO の皆さんを中心に受信された情報のクラブ内への迅速な展開をお願いしたいと思います。そして、依然として会長、幹事さんのアドレス保持が100%にならない分(ならないのも自然なこと地区内20%~30%程度)はCICOさんの職責がネットワークとして鍵になります。以上のことからクラブのCICO名称は変わらず、役割としては以前同様ですが、逆により重要になることが考えられます。会長、幹事の皆さんを情報伝達の分野から強力に支援いただくことは従来以上と、ご理解願いたいと思います。(研究会資料より抜粋)

**幹事報告** (大串 卓幹事)

週報受理 牛久RC、取手RC、水戸RC、水戸西RC

例会変更通知受理 牛久RC 2月21日(月) 2月19日(土) き仙 IMに変更  
2月28日(月) 午後7時より 甲子亭

IMのご案内……………2月19日(土) 13時より 10:30に白井石油さん前よりバスが出発します。  
途中昼食の用意をしております。

地区大会のご案内……………4月3日(日)バスを用意します。出発時間は後日連絡いたします。  
また、地区大会終了後の第8分区観桜会は中止になりました。

**会長挨拶** (鈴木 豊会長)



こんにちは。

今日卓話をして下さる佐藤様は、先日のツウンバからの交換学生受入時には、成田まで一緒に行き通訳として協力をして頂きました。本当に有難うございました。後程、卓話宜しくお願い致します。

2月19日に行われますIMは、会員増強のパネルディスカッションです。当クラブでは、松坂委員長がパネリストです。全員参加という気持ちで宜しくお願いします。

また、国際奉仕委員会の穂戸田委員おかれましては、オーストラリアツウンバからの交換学生受入には、新入会員にも関わらず大変頑張ってくださいました。本当に有難うございました。

## 外部卓話 佐藤 明様



私は(株)日本スポーツ企画出版社の写真部に勤務しております。私の社ではサッカー、テニス、バスケットボール、野球の雑誌を出版しています。

当社はおよそ30年前にテニス雑誌「スマッシュ」を発刊し創業しました。

その後、24年前にサッカー専門誌「サッカーダイジェスト」を創刊、続いてバスケットボールの専門誌「ダンクシュート」、野球専門誌「スラッガー」を順次創刊しました。

「ダンクシュート」はアメリカのNBAを中心に、「スラッガー」は同じくアメリカのメジャーリーグを中心に制作されています。

私の在籍する写真部は現在8名で構成されており、このような出版物の特性上かなりの回数の海外出張があります。

私も昨年度はオリンピック撮影を含め、ヨーロッパ、アメリカを中心に100日以上を海外で過ごしました。

サッカーダイジェストは創刊時、月に1度発売される月刊誌の形態をとっていましたが、読者のニーズにより隔週発刊の形となり、さらにプロリーグであるリーグの発足、開幕を期に週刊誌に形態を変更して現在に至っております。

さらにこの「週刊サッカーダイジェスト」に加え、「ワールドサッカーダイジェスト」(月2回刊)、「ワールドサッカーダイジェストエキストラ」(月刊)を順次発刊し、サッカーに関しては3誌の定期刊行誌を持っています。

このように3誌に及ぶサッカー専門誌を発行する理由は、まずサッカーに対して読者のニーズが多く、また世界中で最もさかんなスポーツであるだけに、そのニュースも多種多様であることが挙げられます。

現実に私も中学生でサッカーを始め、現在も草サッカープレーヤーとして楽しい趣味のひとつとしていますが、35年前の中学生当時は世界のサッカーに関するニュースがまったくといってもよいほど手に入らず、4年に一度行われる世界選手権、日本でも2年前に開催された「ワールドカップ」も当時は新聞のスポーツ面に決勝戦を除けば、ほんの数行、結果だけが載る程度でした。

このワールドカップは当時から世界中のほとんどの国が予選に参加し、この予選に2年が費やされるほど規模の大きな大会です。

私はワールドカップに1982年のスペイン大会から撮影を続けています。

これは当社のサッカーダイジェストが創刊された翌年で、当社ではこのワールドカップの報道こそが雑誌の生命線であると考えました。

さらに、この大会のニュースをいかに早く掲載して読者のニーズに応えるかが重要なテーマでもありました。

このテーマを解決する為にはまず取材する記者の原稿をいかに早く日本の編集部へ届けるかを考えた結果、日本で普及の始まったばかりのファクシミリを現地で使用することになりました。

しかし、ファクシミリの性能もさることながらスペインと日本を繋ぐ電話回線の不調もあり、400字の原稿用紙の一マスに1文字では日本で文字が判別不可能という事態がおこり、急遽4マスに一文字、しかもフェルトペンを使用して濃く書いて送信することで窮地を凌ぎました。

写真に関しては、電話送信の機械もありましたが本体が高価で、受信側の設備も大掛かりな装置が必



要であった為に自社で使用することは不可能でした。このため急ぎの写真は世界的な通信社によって配信される写真を使用、私の撮影した写真は航空便を使用し、3日かかりで日本に発送しました。

時代は流れ、国際電話の回線が整備され、コンピュータを使用しての写真電送も可能になった為、1994年に行われたアメリカの世界カップ本体からは当社でも写真電送を行い、取材から雑誌発行までのスピードは飛躍的に速くなりました。同時に私を含む自社のカメラマンが撮影したオリジナル写真を雑誌に使用することになり、多くの読者を獲得できました。

さらに4年後のフランスで行われた大会にはインターネットによる写真送信。2002年の日韓共催の世界カップではデジタルカメラを使用して、試合終了から6時間後には雑誌が出来上がるというスピード化となりました。

こういったことが可能になった為に私達カメラマンはますます世界の各地へ取材に出かける回数が増えています。

道具の発達、特にコンピュータをはじめとするデジタル機器の進歩が我々、報道の世界を飛躍的に広げています。

しかし、世界が狭くなっても選手、報道陣は人間です。そこで私は日本人であることを幸福に思うことも不幸に思うことも多々あります。(理由は省きますが)

道具によって狭くなった世界、その世界に集う世界中の人々、撮影とは別に私はさまざまな経験をする中で自分が恵まれた国に生まれていることを感じます。

## 出席報告 (角田雅宣委員長)

会員総数	出席者数	欠席者数	賜暇	メーク
50名	35名	15名	1名	15名

出席率 100.00%

## ニコニコボックス (石塚克己副SAA)

・誕生祝御礼 配偶者 関根会員

光陰矢の如し、もう2月です。残すところ5ヶ月間、宜しく願います。 鈴木(豊)会員

あと、5ヶ月で本年度も終わります。 大串会員

寒さに負けないように。 山崎(進)会員

卓話を頂きます佐藤を宜しく願います。 染谷(秀雄)会員

前回欠席させて頂きました。留学生の行事では、染谷委員長始め皆様に色々ご指導を頂きました。有難うございました。 穂戸田会員

今月も宜しく願います。 角田会員

早退します。 瀬戸会員

例会欠席しました。 山野井・鯉沼 各会員

今年、まだニコニコ入れてませんでした。 登坂会員

プロ野球キャンプイン、清原選手の五厘刈りにはビックリ、ケがないように！ 石塚(克)会員

褒められました。 穂戸田・染谷(秀) 各会員

入金計 ¥24,000      累計 ¥1,630,000

会報委員会    委員長 斎藤広巳    副委員長 大塚令昌